

## 仮校舎・建替え工事に関するメリット・デメリット

赤：体育館・プール関連 青：仮校舎関連 緑：建替工事関連

	メリット	デメリット
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1校舎は、新校舎完成後に解体するため、工事期間中も教室や屋上を利用できる。</li> <li>・仮校舎は、中庭や道路に面するため、採光・通風に配慮しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存運動場は、工事期間中の仮校舎で利用するため、使用できない。</li> <li>・仮校舎は、工事搬出入路と仮設校舎が近接するため、教育環境に配慮が必要となる。</li> <li>・西側擁壁は解体するため、近隣や歩行者等への安全に配慮が必要となる。</li> <li>・学校の周辺道路が狭いため、工事車両の通過に伴い、児童や近隣に対する安全管理が必要となる。</li> </ul>
案1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存体育館・プールは、新体育館・プールが完成後解体するため、工事期間中も利用できる。</li> <li>・仮設渡り廊下の設置数は2箇所となる。</li> <li>・第1校舎と仮校舎はまとまるため、児童の安全管理がしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮校舎は、樹木を避けて整備するため、まとまったスペースが採れず、大型の部屋を計画しづらい。</li> </ul>
案2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存体育館・プールは、新体育館・プールが完成後解体するため、工事期間中も利用できる。</li> <li>・仮校舎の設置場所は、まとまったスペースが採れるため、計画の自由度が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設渡り廊下の設置数は3箇所となる。</li> <li>・第1校舎と仮校舎は分散されるため、児童の安全管理が必要となる。</li> </ul>
案3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存体育館は、新体育館が完成後解体するため、工事期間中も利用できる。</li> <li>・仮校舎の設置場所は、まとまったスペースが採れるため、設計の自由度が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールは、既存プール解体後、同じ位置に設置するため、新プールが完成するまで利用できない。</li> <li>・仮設渡り廊下の設置数が3箇所となる。</li> <li>・第1校舎と仮校舎は分散されるため、児童の安全管理が必要となる。</li> </ul>